

万葉集 まんようしゅう

あかねさす紫野行き標野行き
むらさきのゆしめのゆ
野守は見ずや君が袖振る
のもりきみそでぶ

額田王 ぬかたのおおきみ

石走る垂水の上のさ蕨の
いははし たるみ うえ わらび
萌え出づる春になりけるかも
も い はる

志貴皇子 しきのみこ

新しき年の始の初春の
あたらし とし はじめ はつはる
今日降る雪のいや重け吉事
きょう ふ ゆき し よごと

大伴家持 おおとものやかもち

●書ける字はなぞりましょう。声に出して読みましょう。